

整形外科

整形外科：選択研修

指導医：整形外科部長、整形外科医長、指導医資格のある医師

上級医：臨床経験が8年以上あるが指導医養成講習会未受講の医師、および臨床経験7年以下の整形外科医

指導者：病棟看護師長、整形外科外来専従看護師、リハビリテーション科職員

●一般目標（GIO）

整形外科が扱う運動器疾患全般を、全人的に把握するために基本的知識、臨床応用能力、態度を習得し各専門的医療に進むための基礎を築く。

●行動目標（SBOs）

- ・ 患者およびその家族との信頼関係を確立することが出来る。
- ・ 他職種を含めたチーム医療を理解し、その中で指導医、上級医と共に医師としての役割を果たすことが出来る。
- ・ 問診、身体診察を含む整形外科的診断スキルを身につけ、診断能力を養う。
- ・ 骨・関節のX線像・CTスキャンおよびMRI所見を読影し、正常像と異常像を識別できる。
- ・ 各種検査（関節穿刺、関節造影、脊髓腔穿刺および造影、徒手筋力テスト、筋電図など）の適応を選択、実施し、その結果を理解できる。
- ・ 各種保存療法（ギブス包帯、各種副子固定、関節および直達牽引法、各種神経ブロックなど）の適応を理解し、実施できる。
- ・ 理学療法、機能訓練など一般的リハビリテーションの適応を理解し、処方できる。
- ・ 外傷（骨折・脱臼・捻挫）の救急処置を的確に実施できる。
- ・ 地域中核病院にて診療に従事する重要性を理解、自覚し、地域チーム医療としての病院連携を図ることが出来る。
- ・

●方略

<病棟業務>

- ・ 担当患者の血液検査（採血等）、画像検査（エコー、CT、MRI）、といった各種検査にできるだけ付き添い、検査を見学および状況に応じて指導医のもとで実践する。
- ・ 指導医、上級医のもと、ガーゼ交換やギブス除去などの実践も行う。
- ・ 指導医、上級医とともに入院患者の診療内容・説明内容をカルテに記載する。
- ・ 担当患者の手術に関しては、指導医、上級医とともに見学もしくは助手(実践)として入室する。
- ・ 担当患者の手術記録も指導医、上級医のもとで行い経験する。

<外来業務>

- ・ 臨床研修2年目の研修医においては、問診、診察、検査オーダー、評価、処方といった

「一般外来」診療を経験する。

<救急業務>

- ・ 救急患者に関しては、救急搬送時において、指導医、上級医と共に対処する。

<カンファレンス>

- ・ 毎朝の始業時カンファレンスに参加する。

<研究会、学会、学術活動>

- ・ 研究会、地方会に指導医とともに参加し必要に応じて発表する。
- ・

<週間予定>

	朝 8:30	9:00	昼 12:45	15:00	夕 17:15
月曜	朝礼	手術（午前）	手術（午後）		終了
火曜	術前 CC	外来診察	検査急患対応		終了
水曜	朝礼	手術（午前）	手術（午後）		終了
木曜	術後 CC	外来診察	検査急患対応	回診	終了
金曜	朝礼	手術（午前）	手術（午後）		終了

●評価

- ・ 病院として定めた評価方法にて評価を行う。
- ・ 評価者は、指導医、指導者（病棟師長、等）が行う。
- ・ 研修医からの評価も必ず施行する。